

**留学先国名** : インドネシア

**留学先学校名** : Petra Christian University 大学

**留学期間** : 平成 27 年 8 月 27 日 ~ 平成 28 年 7 月 1 日

私は長期認定留学を利用し 2015 年 8 月 28 日から 2016 年 6 月 28 日までおおさかグローバル奨学金制度を利用し、インドネシア、スラバヤ市、ペトラ大学に留学しました。私の留学生活約 10 ヶ月は想像以上の幸せと困難が詰まっていました。私が留学をしたインドネシアにあるスラバヤ市のペトラ大学は 90%以上が中華系インドネシア人で占められたインドネシアでも稀な大学にいきました。スラバヤ市では主にジャワ語が使われており次にインドネシア語、スラバヤ語などの順番に使われています。比較的にインドネシア語は新しく、他の地域によって言語が違うのがインドネシアの特色です。どこの国へ行ってもこのような言語体制になっている国は珍しいでしょう。

私は桃山学院大学の生徒としてペトラ大学に留学しました。スロヴァキア人、ハンガリー人、韓国人と私を含め 6 人の男 1 人女 5 人の留学生活が始まりました。私の父の言う通り留学中はコスコサンという寮のような寮より小さい宿で生活しました。父曰く、アパートに住んでいても友人もインドネシアの文化も学べないと言うので、言う通りに大学近くの小さい路地先の白い壁のコスコサンに住んでみました。部屋は日本のアパートよりも小さく大きなベッド一つと机と椅子がありました。家賃は 1 万 7 千円ほどで日本の約三分の一で部屋掃除と食事付きの素敵な場所でした。コスコサンで出会えた友人たちはとても変わっていた子が多く、一人は日本の文化が好きな大きなアディー君と 19 歳にして父になり大学に通いながら生活しているマクシー君です。彼らは若くして大きなタワーをしており日本の学生との違いを感じました。しかし、生活していくうちに僕と同じ変わらない学生なんだなと感じました。インドネシアは決して綺麗な国ではありません。犯罪、環境汚染、賄賂など時間に対して厳格ではない事など色々和日本と比べて良いとは言えませんがなんととってもインドネシアの美しさは人々の中にあると学びました。日本人より心の余裕があるんじゃないかと感じます。他人にはとても親切で笑顔は絶やすことがなくとてもいい方ばかりでした。なんととっても今回の留学で学んだのは人との繋がりでした。

前回のオーストラリアでは学べなかった人の温もりを感じました。人との距離が非常に近く自ら近づかなくとも、あちらから『Ke mana? どこへ行くの?』『Dari mana? どこから来たの?』と道行く人々から聞かれます。私が日本人だと明かすととても相手は喜んで色々なことを聞いてきます。最近だと私の知らないアニメの話や日本の車の話です。私よりもっと専門的なので答えられないことも多く反応に困りました。しかし、戦後日本の植民地から解放し独立して以来日本を憎まず（憎んでいる方は少ないそうです）日本を愛してくれて私はとても嬉しいです。日本人にはない他人への関心や親切心は何倍も大きいものだと感じます。コスコサンのメイドさんたちはとても親切でよく「元気？」と声をかけてくれます。

コスは綺麗とは言えません。猫ぐらいの大きさのネズミがよく走り回り、毎朝車にひかれたネズミの死体などを見ます。病気気味の猫はひたすら残飯を食い荒らし、たまに私のドアの前に食べた魚の骨を置いていき、

朝気づかず踏んでしまい何度か足を怪我しました。ゴキブリも日本にいる 2 倍の大きさです。そのような生物との共存は綺麗ではありませんが、そんな環境にあまり気を取られず生活するインドネシア人は素晴らしいなと感心させられます。

出会いは数知れずありました。一人で日本食を食べに行ったらに出会った日本企業の社長さんや、日本大使館の方や、趣味に意気投合してできた友人達やオランダから来た留学生達など多くの方々から多くのことを学びました。日本にいる間は人との距離が遠くてこちらから話しかけづらかったりしますが、インドネシアにいる間はみなさんとの距離が近くて友人を作ることは難しくはありませんでした。

授業でも Interpersonal communication や Cross culture communication などのコミュニケーション学を学びとても良い経験ができたと思います。インドネシアでは交渉術など日常から学べることが多く、学生のビジネスに対しての意欲の大きさに驚きました。授業では動画制作が多く、制作の過程で多くの人々にインタビューをするなどして人の輪を広げました。

留学中にとっても仲良くなったのは Steve くんです。オランダ出身で父がオランダ人の彼は、インドネシア人の母を持つ私と似た境遇のハーフです。週末や時間があればよくカフェや外食に出かけました。彼はよくオランダの話をしてくれました。特にオランダは多種多様な文化や人種が入り混じっており日本のような閉鎖的な国ではないので多少羨ましかったです。彼は私より経験豊富でいつもためになる話を聞くことができました。帰国したら共に会社を立ち上げて会社を作ろうなどと言ったものです。この時期は私にとって就活という人生を左右する局面なのでこのように互いに話を交わす友人は数少ないのではないかと思います。なぜかというと、帰国して周りは就活するなら福利厚生が手厚い給料が良い会社がいいと言います。しかし、そのように言っている友人は大抵何になりたいかわかっていません。私は将来貿易関連の社長になりたいです。そのためにこの 4 年間多くの国に行き多くのものを頭に入れてきました。

私にとってのインドネシアの留学はとても貴重な経験だったと自負しております。今後、機会があればインドネシアで働く一つのきっかけになります。皆様のご支援がなければこのような貴重な経験はできなかったと思います。

これから、インドネシアに留学する学生にお勧めするのは多種多様な文化と言語に出会えることです。カルチャーショックは外国の先進国よりも大きく良い刺激になるでしょう。生活していく中で文化や風習を理解できなくても妥協は大切です。世の中には理解できないものは間違いなく有るからです。そこから自分が何を学ぼうとするかの姿勢が最も大切です。くれぐれも東南アジアでの留学中は体調管理には気をつけて下さい。